



図書館だより

青森県立五所川原高等学校図書委員会

第7号 《令和 7年 1月28日発行》

担当：24HR



環境問題関連の本



1月の新着本に、環境問題に関する本が続々入荷しました！

特に注目したいのは、『絶滅体験レストラン』です。環境問題を、まるでレストランのメニューを選ぶように楽しく学べる一冊。難しい話は一切なし！イラストも豊富で、あっという間に読めてしまいます。

「本を読むのが苦手…」という方も、きっと楽しめるはず。環境問題に興味がある方はもちろん、気軽に読める本を探している方も、ぜひ手に取ってみてください。

もう1冊、14 歳からシリーズの気候変動や防災に関する本も、イラストでわかりやすく解説しているので、おすすめです。

より深く環境問題を知りたい方は、昨年購入した岩波ブックレットも一緒にどうぞ。



***** 私たちのおすすめ本 *****

AI 時代に輝く子供—STEM 教育を実践してわかったこと—



「STEM 教育」とは何か？これは Science(科学)「Technology(先端技術)」「Engineering(工学技術)」「Mathematics(数学)」の 頭文字に、これらを ON するという意味で「ステモン」という名前の教育展開の略です。

本書では、2020 年より小学校でのプログラミング教育が必修化された中で、公立小学校でのプログラミング授業実施実績では日本一という「ステモン」の考え方と、プログラミングやロボット工作を手段として「トライ&エラー」を繰り返す中で学びを深めていき、その方法論を紹介しています。

情報化が急速に進む今の社会で、日本ではどのようにして情報教育が施されているのか？情報について少しでも興味がある人におすすめの本となっています。

『わかったさんのスイートポテト』

フリーニングの配達中にサツマイモほりを手伝ったわかったさんが、気がつけばスイートポテトを食べたいというヤーぼっちゃんのために、あっちこっちへ走り回ること...！？

1987 年からたくさんの読者に愛されたわかったさんシリーズが、新たに「わかったさんのあたらしいおかしシリーズ」として刊行がスタートされた、第一弾の作品です。

かわいい絵やお話に癒される作品だと思うので、ぜひ読んでみてください。



1月新着本

書 籍 名	著 者 名
自分で地域で手づくり防災術—土砂崩れ、洪水、地震に備える	農山漁村文化協会
小さなエネルギーで暮らすコト—太陽光・水力・薪&炭で、電気も熱も自分でつくる	農山漁村文化協会
高校生と考える人生の進路相談	桐光学園中学校・高等学校
夢を先送りしない勉強法	石黒 由華
現代用語の基礎知識学習版（2024-2025）	現代用語検定協会
AI時代に輝く子ども—STEM教育を実践してわかったこと	中村 一彰
絶滅体験レストラン—もしも環境問題が13の飲食店だったら	W o Wキツネザル
ルポ スマホ育児が子どもを壊す	石井 光太
古代日本の超技術—あっと驚く「古の匠」の智慧（新装改訂版）	志村 史夫
きみのお金は誰のため—ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」	田内 学
ヘルシンキ生活の練習	朴 沙羅
s p r i n g	恩田 陸
13歳からの地政学—カイゾクとの地球儀航海	田中 孝幸
日本の論点〈2025-26〉	大前 研一
事例でみる住み続けるための減災の実践—暮らし・コミュニティ・風景を地域でつなぐ手法	鈴木 孝男他
アップルはジョブズの「いたずら」から始まった	井口 耕二
青い絵本	桜木 紫乃
プラスチック	井上 夢人
中学数学で解く大学入試問題—数学的思考力が驚くほど身につく画期的学習法	杉山 博宣
父が子に語る科学の話—親子の対話から生まれた感動の科学入門	ヨセフ・アガン
DNAとはなんだろう—「ほぼ正確」に遺伝情報をコピーする巧妙なからくり	武村 政春
ブルーバックス科学手帳〈2025〉	ブルーバックス編集部
歴史を変えた気候大変動—中世ヨーロッパを襲った小氷河期	ブライアン・フェイガン
日本の気候変動5000万年史—四季のある気候はいかにして誕生したのか	佐野 貴司他
森林に何が起きているのか—気候変動が招く崩壊の連鎖	吉川 賢
14歳から知る気候変動	インフォビジュアル研究所/SEMIジャパン
気候変動を学ぼう—変化の担い手になるために	ライメート・リアリティ他
もう会えない人と思う夜に—大切な人と死別したあなたに伝えたいグリーフケア28のこと	坂口 幸弘/赤田 ちづる
生殖記	朝井 リョウ
ひまわり	新川 帆立
人魚が逃げた	青山 美智子
加耶／任那—古代朝鮮に倭の拠点はあったか	仁藤 敦史
これからの日本の論点〈2025〉日経大予測	日本経済新聞社